

# MRテキスト2018

# 疾病と治療

臨床

追 補  
(2020年6月)

## 2019年追補差し替え 37頁 左の上から4行目

最も頻度が高い疾患である。 → 頻度が高い疾患である。

## 2019年追補差し替え 37頁 左の上から16行目

原発性アルドステロン症（p.152参照）や褐色細胞腫



二次性高血圧の中では最も頻度が高い原発性アルドステロン症（p.152参照）や褐色細胞腫

## 152頁 左の上から6行目

3.5～10% → 5～10%

## 204頁 右の上から5行目

2014年にがんで死亡した人は368,103例（男性218,397例，女性149,706例）で，2012年に新たに診断されたがん（罹患全国推計値）は865,238例（男性503,970例，女性361,268例）であった。2006～2008年にがんと診断された人の5年相対生存率は男女計で62.1%（男性59.1%，女性66.0%）であった。



2018年にがんで死亡した人は373,584人（男性218,625人，女性154,959人）。2016年に新たに診断されたがん（全国がん登録）は995,131例（男性566,574例，女性428,499例，性別不詳があるため男女合計が総数と一致しない）であった。2009～2011年にがんと診断された人の5年相対生存率は男女計で64.1%（男性62.0%，女性66.9%）であった。

## 204頁 右の下から3行目

大腸，肝臓 → 大腸，肝臓，膵臓

## 204頁 表12-2を差し替える

表12-2 部位別がん死亡順位（2018年）

	1位	2位	3位	4位	5位	
男 性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合，結腸4位，直腸7位
女 性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房	大腸を結腸と直腸に分けた場合，結腸2位，直腸10位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合，結腸3位，直腸7位

（国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」）

204頁 図12-1を差し替える

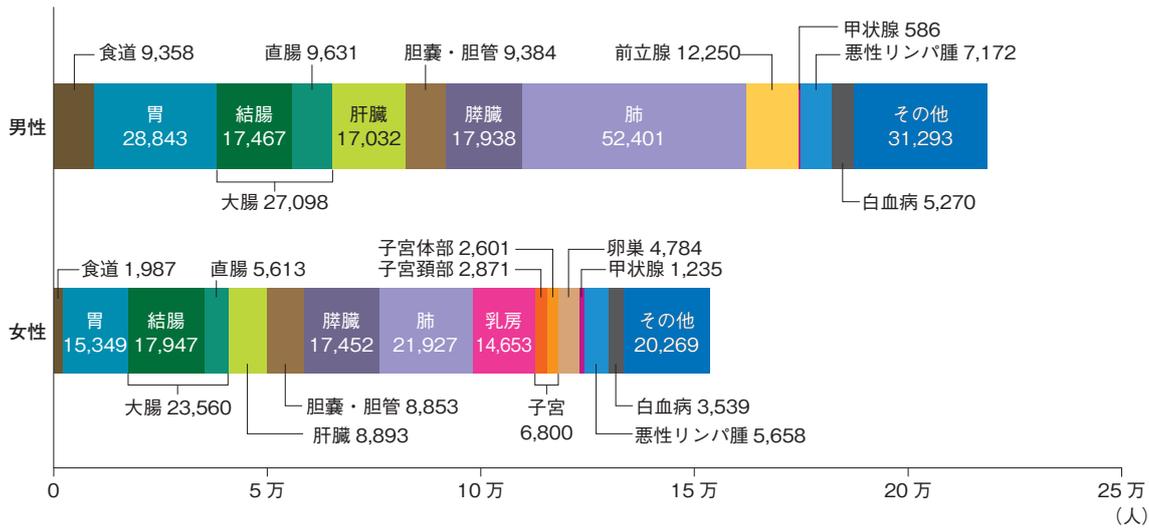


図12-1 部位別がん死亡数 (2018年)

(国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」)

205頁 図12-2を差し替える

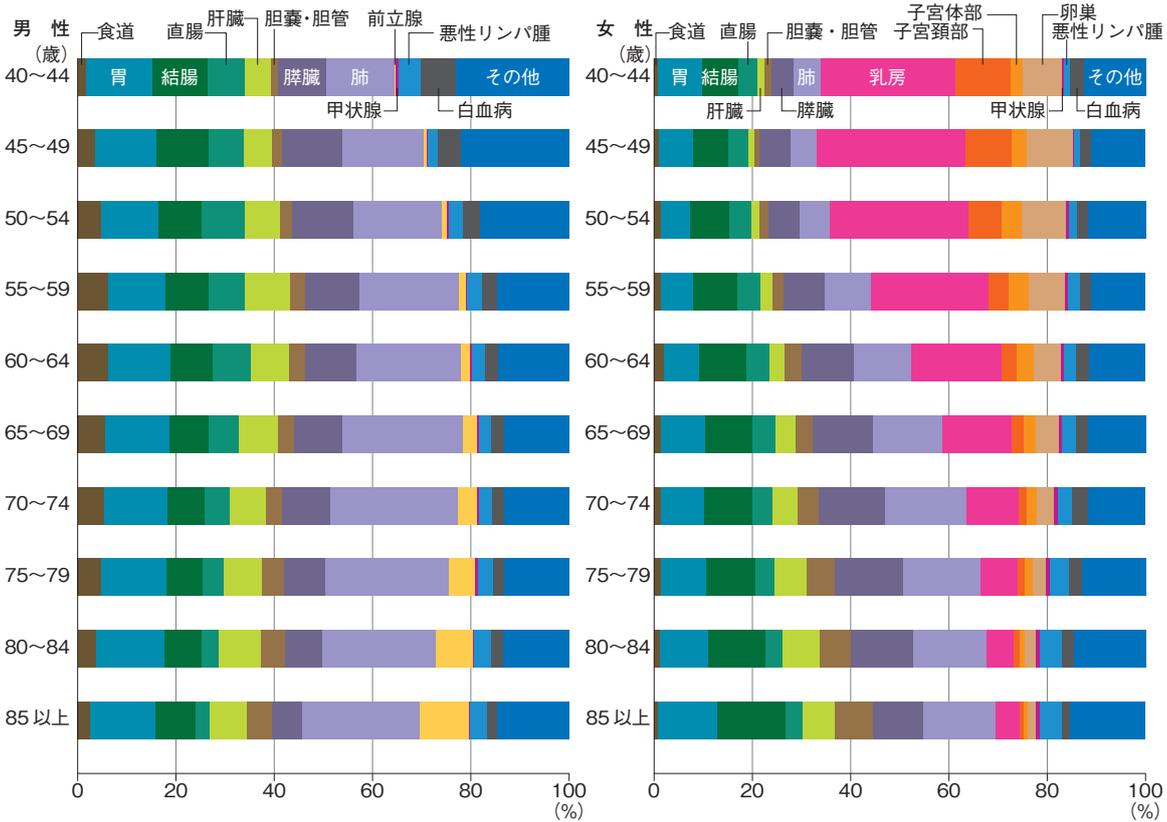
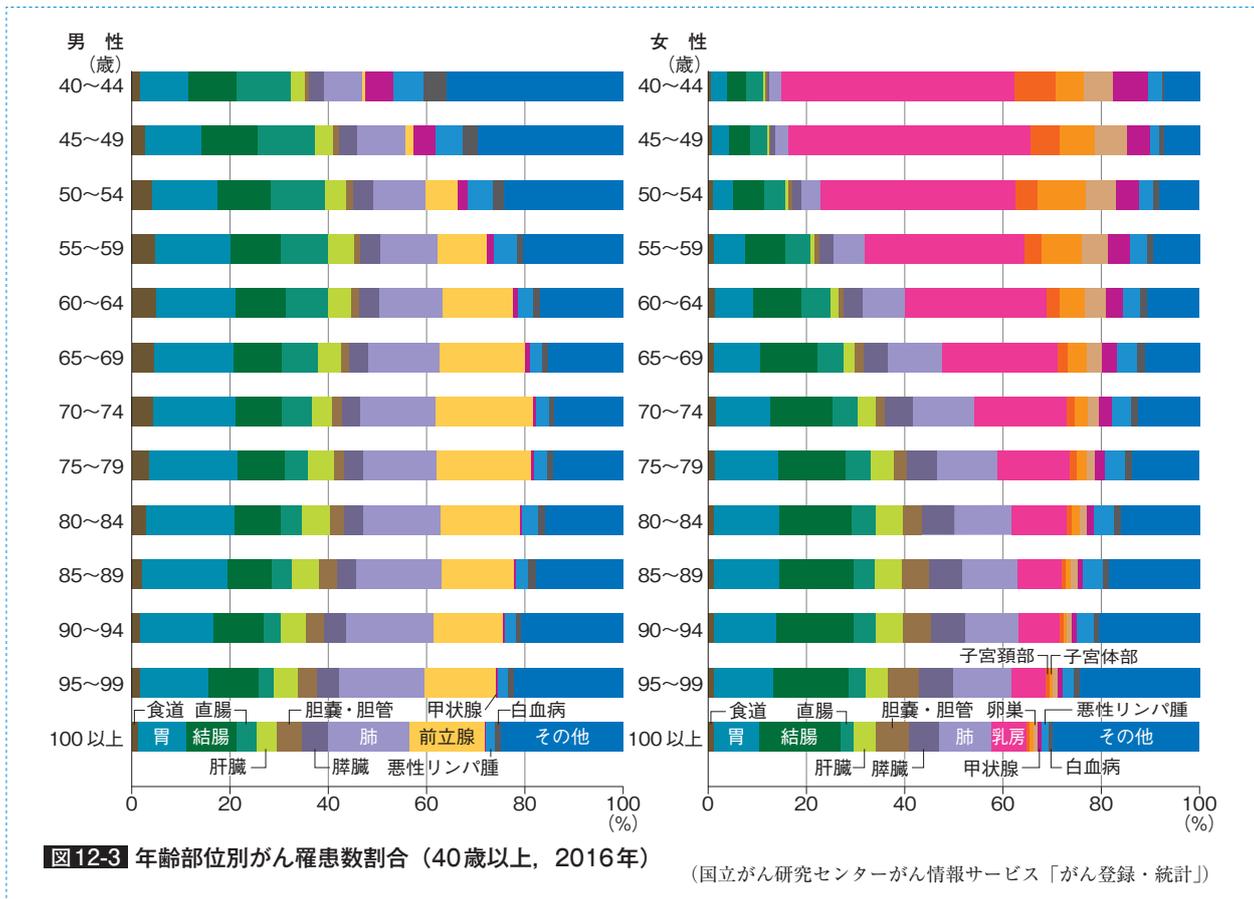


図12-2 年齢部位別がん死亡数割合 (40歳以上, 2018年)

(国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」)



206頁 左の上から3行目

肝臓 → 肝臓, 膵臓

213頁 表12-4のGrade3の枠内

活動不能/動作不能；身の回りのADLの制限 → 身の回りのADLの制限

213頁 表12-4の出典先

（CTCAE v4.0 日本語訳 JCOG 版） → （CTCAE v5.0 日本語訳 JCOG 版）